

平成24・25年度

第4回城東区民モニターアンケート結果

「城東区の運営方針策定のためのアンケートについて」



城東区マスコットキャラクター

「コスモちゃん」

平成26年3月

大阪市城東区役所

【1】調査の概要

1 調査の目的

城東区では、区における「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として、区将来ビジョンや市政改革プランなどの方針を踏まえ、毎年度、区運営方針を策定しています。

城東区の目標や使命、主な経営課題とともに課題解決のための事業戦略・具体的取組を示しており、職員一人ひとりがそれを共有し、成果を意識するとともに、区民の皆さんにその達成状況を明確にご説明することなどを目的として取り組んでいます。

平成 26 年度の区運営方針策定にあたっては、区民の皆さんからの城東区政やまちづくり全般に対するご意見や、現状をおたずねすることにより、城東区の課題や区民ニーズを把握し、区政運営における課題把握の参考とします。

2 調査の実施状況

調査期間：平成 25 年 11 月 15 日～平成 25 年 11 月 30 日

方法：郵送及び電子申請アンケートシステム

対象：区民モニター登録者 789 人

回答者数：569 人（内訳：郵送 464 人 電子申請 105 人）

回答率：72.1%

3 区民モニター数及び回答者数

		区民モニター			回答者		
		男	女	計	男	女	計
計		314	475	789	214	355	569
年代別	20歳代以下	18	37	55	6	23	29
	30歳代	48	101	149	30	65	95
	40歳代	50	103	153	35	74	109
	50歳代	50	66	116	37	60	97
	60歳以上	148	168	316	106	133	239

参考：各設問の n については、回答対象者、【 】については回答数です。

数値（%）は、各実数をもとに比例表示し、小数第 2 位を四捨五入しているため内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。

年齢については、平成 25 年 4 月 1 日を基準としています。

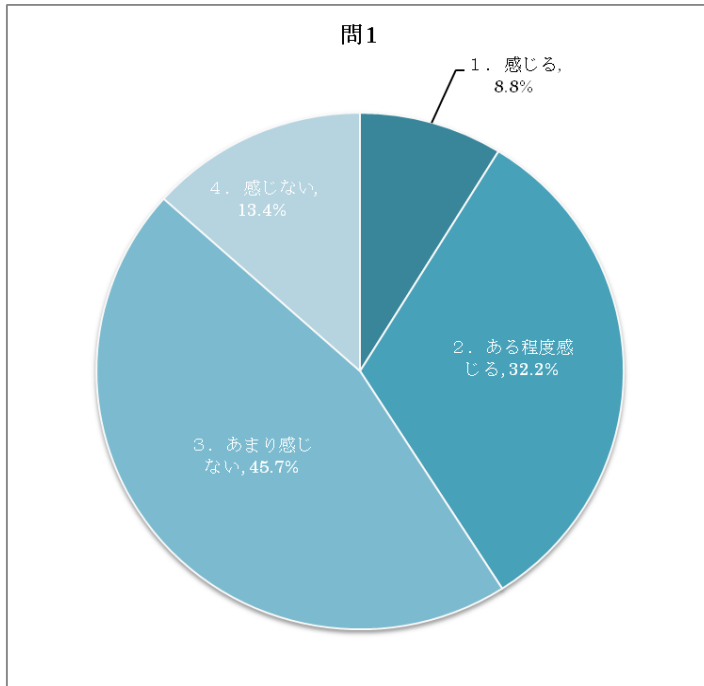
【2】調査結果の分析

問1 住民同士の「つながり」や「きずな」が増えたと感じますか。

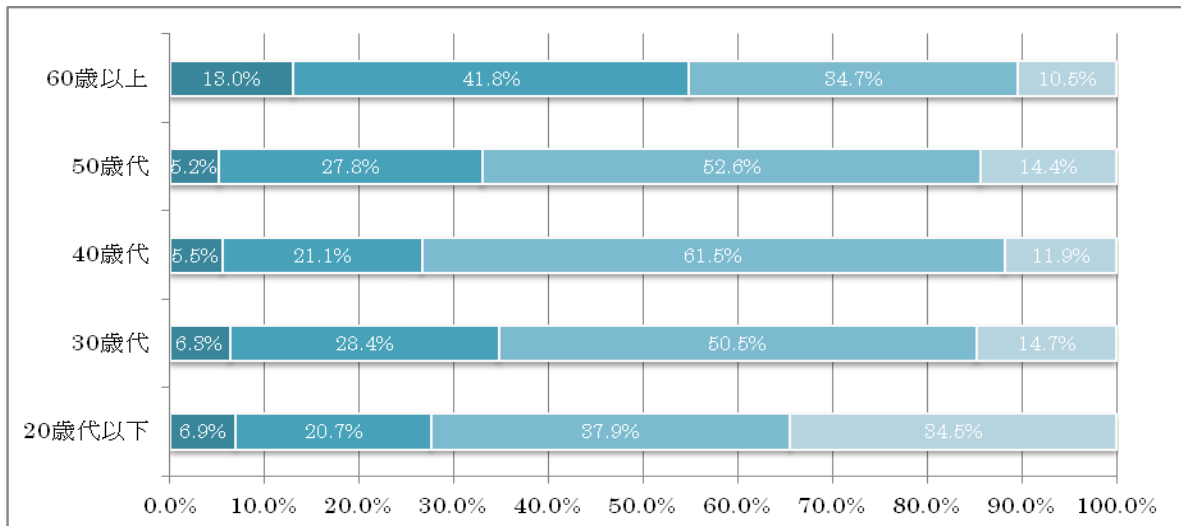
(1つ選んでください)

1. 感じる	8.8%	【50】
2. ある程度感じる	32.2%	【183】
3. あまり感じない	45.7%	【260】
4. 感じない	13.4%	【76】

n = 569



年代別グラフ



【分析・コメント】

住民同士の「つながり」や「きずな」が増えたと感じますかとたずねたところ、「感じる」(8.8%)と「ある程度感じる」(32.2%)をあわせた4割の方は『増えたと感じる』、「あまり感じない」(45.7%)と「感じない」(13.4%)をあわせた6割の方は『増えたと感じていない』ということがわかりました。

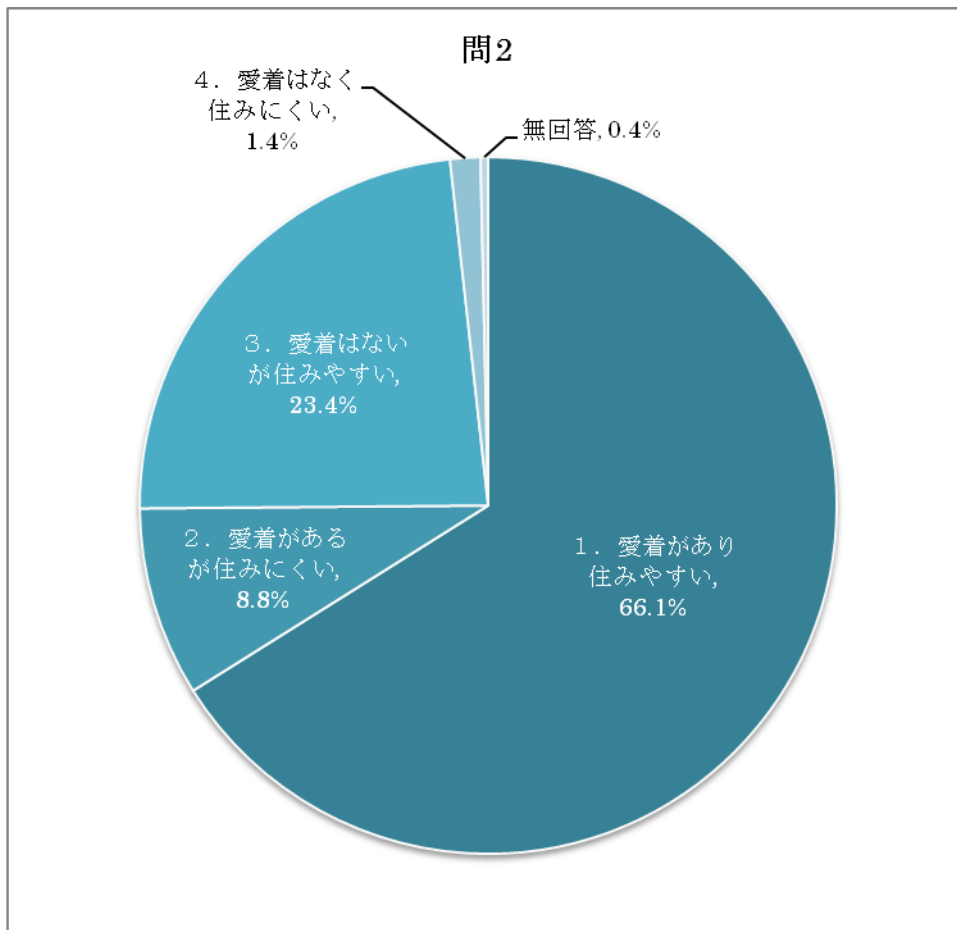
年代別で見ると、60歳以上で『増えたと感じる』方の割合が『増えたと感じていない』方の割合を上回っているが、それ以外の年代では、いずれも『増えたと感じていない』方の割合が多いことがわかりました。

問2 城東区に愛着をお持ちですか。また、住みやすいまちだと思っておられますか。

(1つ選んでください)

1. 愛着があり住みやすい	66.1%	【376】
2. 愛着があるが住みにくい	8.8%	【50】
3. 愛着はないが住みやすい	23.4%	【133】
4. 愛着はなく住みにくい	1.4%	【8】
無回答	0.4%	【2】

n = 569



【分析・コメント】

城東区への愛着と住みやすさについてたずねたところ、7割の方は「愛着があり住みやすい」(66.1%) と思っていることがわかりました。

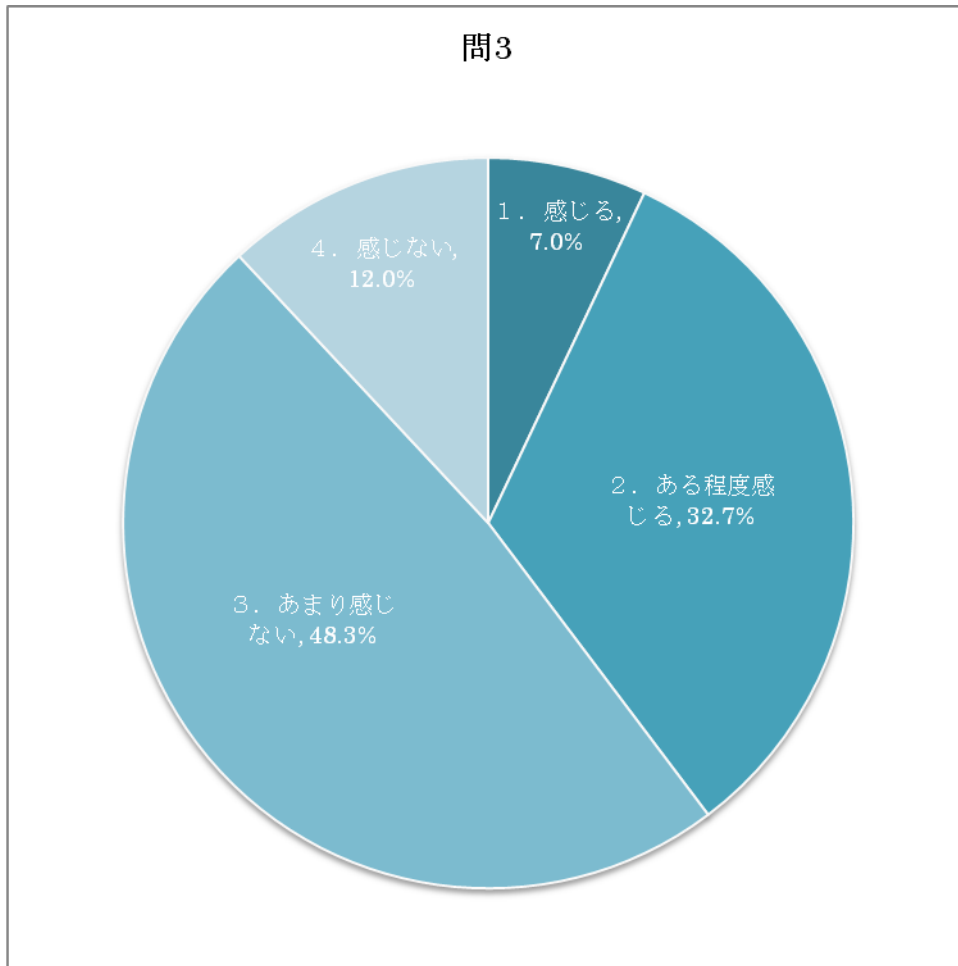
愛着度でみると、「愛着があり住みやすい」(66.1%)、「愛着があるが住みにくい」(8.8%)を合わせた7割の方は、城東区に愛着を持っていることがわかりました。また、住みやすさでみると、「愛着があり住みやすい」(66.1%)、「愛着はないが住みやすい」(23.4%)を合わせた9割の方は、城東区は住みやすいまちだと思っていることがわかりました。

問3 地域での防災活動※が充実してきていると感じますか。

(1つ選んでください)

1. 感じる	7.0%	【40】
2. ある程度感じる	32.7%	【186】
3. あまり感じない	48.3%	【275】
4. 感じない	12.0%	【68】

n = 569



【分析・コメント】

地域での防災活動が充実してきていると感じますかとたずねたところ、「あまり感じない」(48.3%)と「感じない」(12.0%)をあわせた6割の方は充実してきていると感じておらず、「感じる」(7.0%)と「ある程度感じる」(32.7%)をあわせた4割の方は充実してきていると感じていることがわかりました。

※地域での防災活動とは

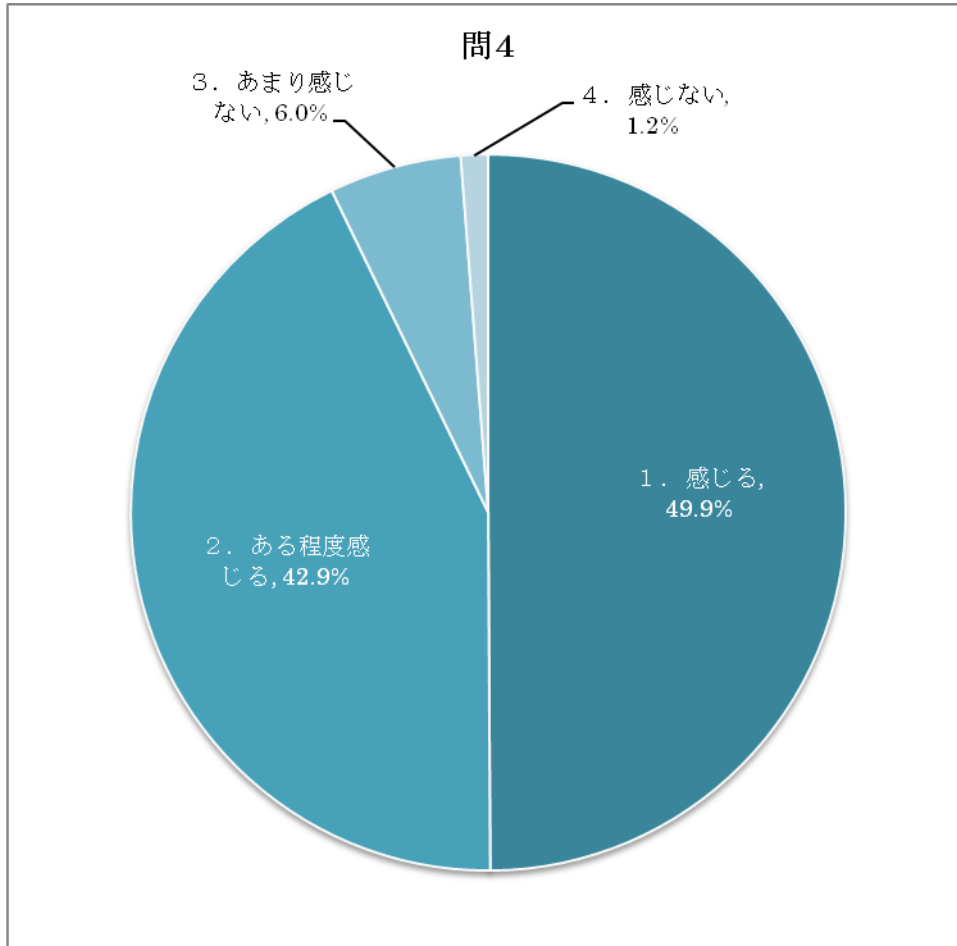
避難訓練・避難所体験・防災訓練・図上訓練・安否確認・救命救護訓練(AED等)・防災マップ作り・まち歩きなど

問4 自助・共助※による地域防災活動が必要と感じますか。

(1つ選んでください)

1. 感じる	49.9%	【284】
2. ある程度感じる	42.9%	【244】
3. あまり感じない	6.0%	【34】
4. 感じない	1.2%	【7】

n = 569



【分析・コメント】

自助・共助による地域防災活動が必要と感じますかとたずねたところ、「感じる」(49.9%)と「ある程度感じる」(42.9%)をあわせた9割の方は域防災活動が必要であると感じていることがわかりました。

※自助・共助とは

自助) 自分自身とご家族の命を守るための備えと行動

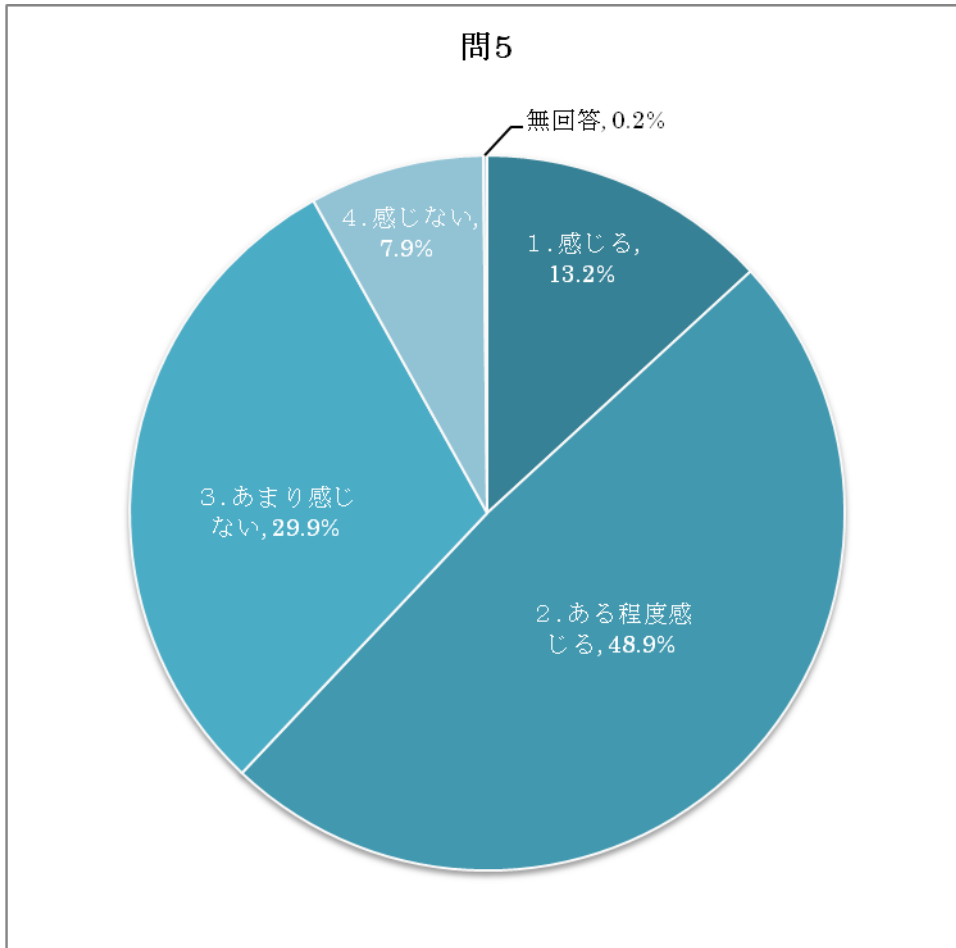
共助) 近隣のみなさんと協力し、助け合うための備えと行動

問5 城東区は犯罪の少ないまちと感じますか。

(1つ選んでください)

1. 感じる	13.2%	【75】
2. ある程度感じる	48.9%	【278】
3. あまり感じない	29.9%	【170】
4. 感じない	7.9%	【45】
無回答	0.2%	【1】

n = 569



【分析・コメント】

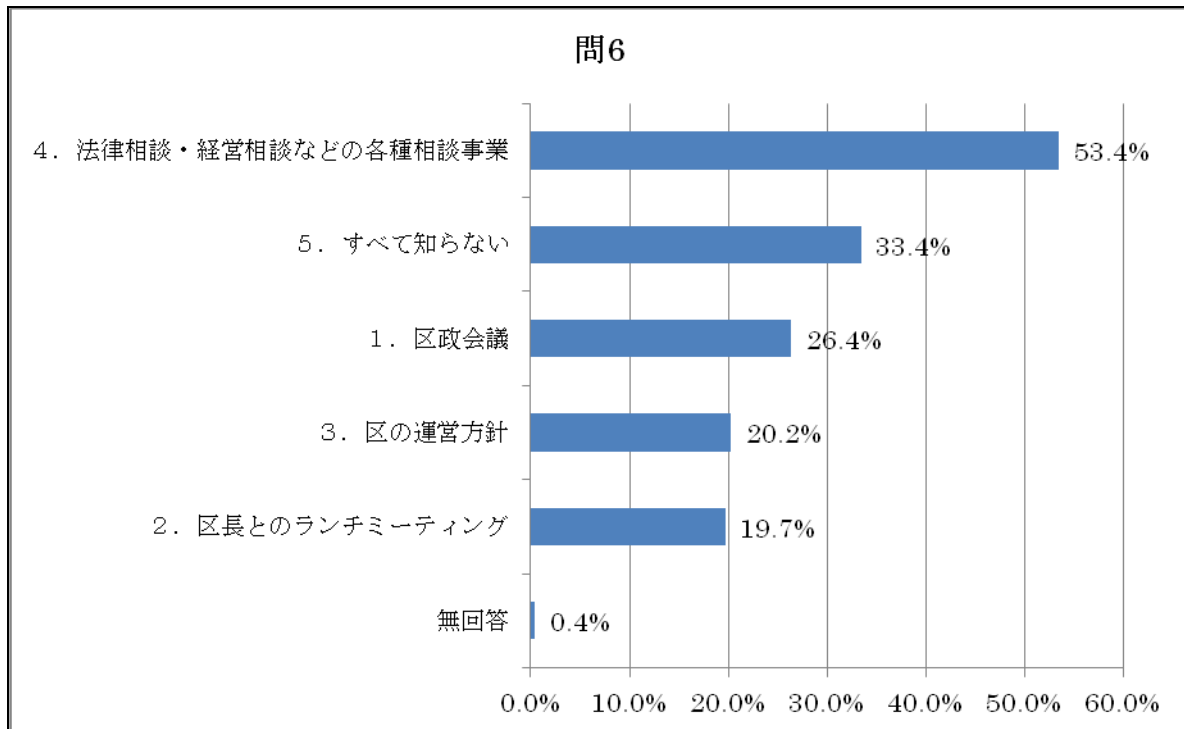
城東区は犯罪の少ないまちと感じますかとたずねたところ、「感じる」(13.2%)と「ある程度感じる」(48.9%)をあわせた6割の方は犯罪の少ないまちと感じていることがわかり、また「あまり感じない」(29.9%)と「感じない」(7.9%)をあわせた4割の方は犯罪の少ないまちと感じていないことがわかりました。

問6 次の中から知っているものを選んでください。

(あてはまるものすべてを選んでください)

1. 区政会議	26.4%	【150】
2. 区長とのランチミーティング	19.7%	【112】
3. 区の運営方針	20.2%	【115】
4. 法律相談・経営相談などの各種相談事業	53.4%	【304】
5. すべて知らない	33.4%	【190】
無回答	0.4%	【2】

n = 569



【分析・コメント】

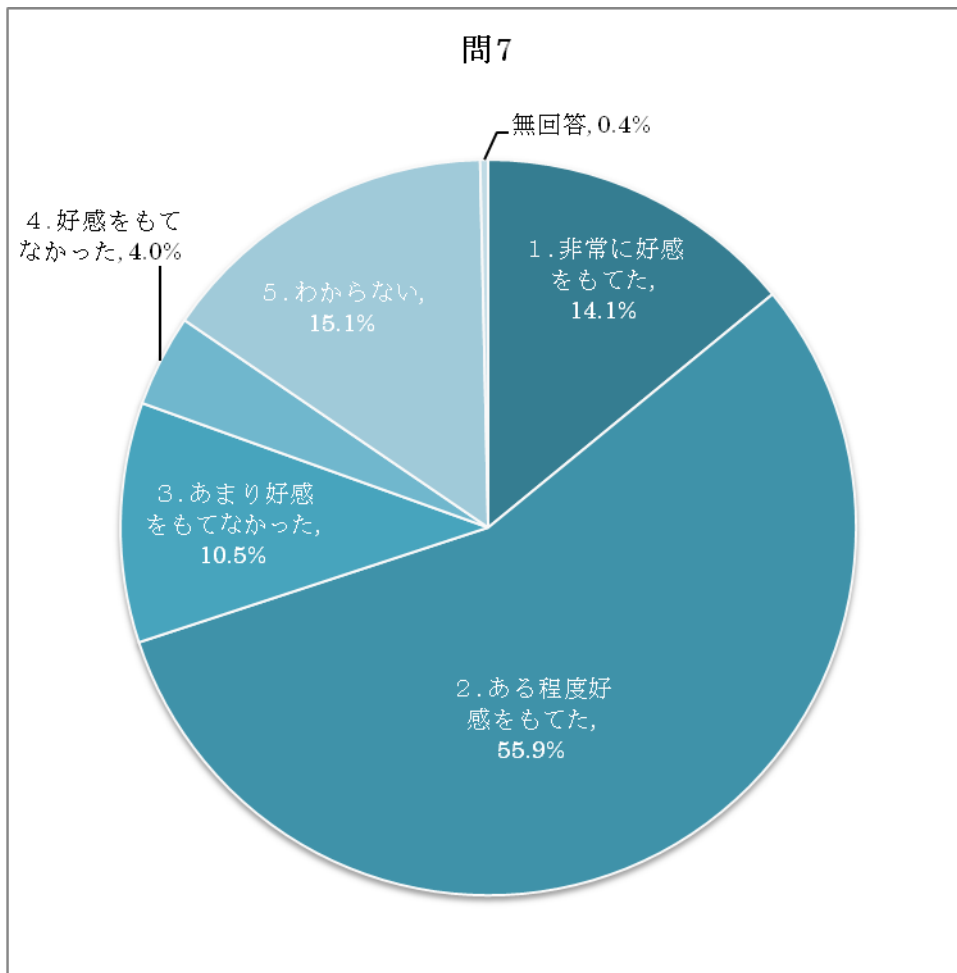
区役所で実施している上記の事業についてたずねたところ、一番多かったのは「法律相談・経営相談などの各種相談事業」(53.4%)、次に「すべて知らない」(33.4%)、「区政会議」(26.4%)が多い順になっています。

年代別で見ると、「法律相談・経営相談などの各種相談事業」では20歳代以下、30歳代で低く、逆に60歳以上で高いことがわかりました。(20歳代以下 37.9%、30歳代 32.6%、40歳代 48.6%、50歳代 52.6%、60歳以上 66.1%)。また、「すべて知らない」では20歳以下、30歳代で高いことがわかりました。(20歳代以下 44.8%、30歳代 48.4%、40歳代 41.3%、50歳代 37.1%、60歳以上 20.9%)

問7 窓口や電話での区役所職員の対応は、好感をもてますか。 (1つ選んでください)

1. 非常に好感をもてた	14.	1%	【80】
2. ある程度好感をもてた	55.	9%	【318】
3. あまり好感をもてなかった	10.	5%	【60】
4. 好感をもてなかった	4.	0%	【23】
5. わからない	15.	1%	【86】
無回答	0.	4%	【2】

n = 569



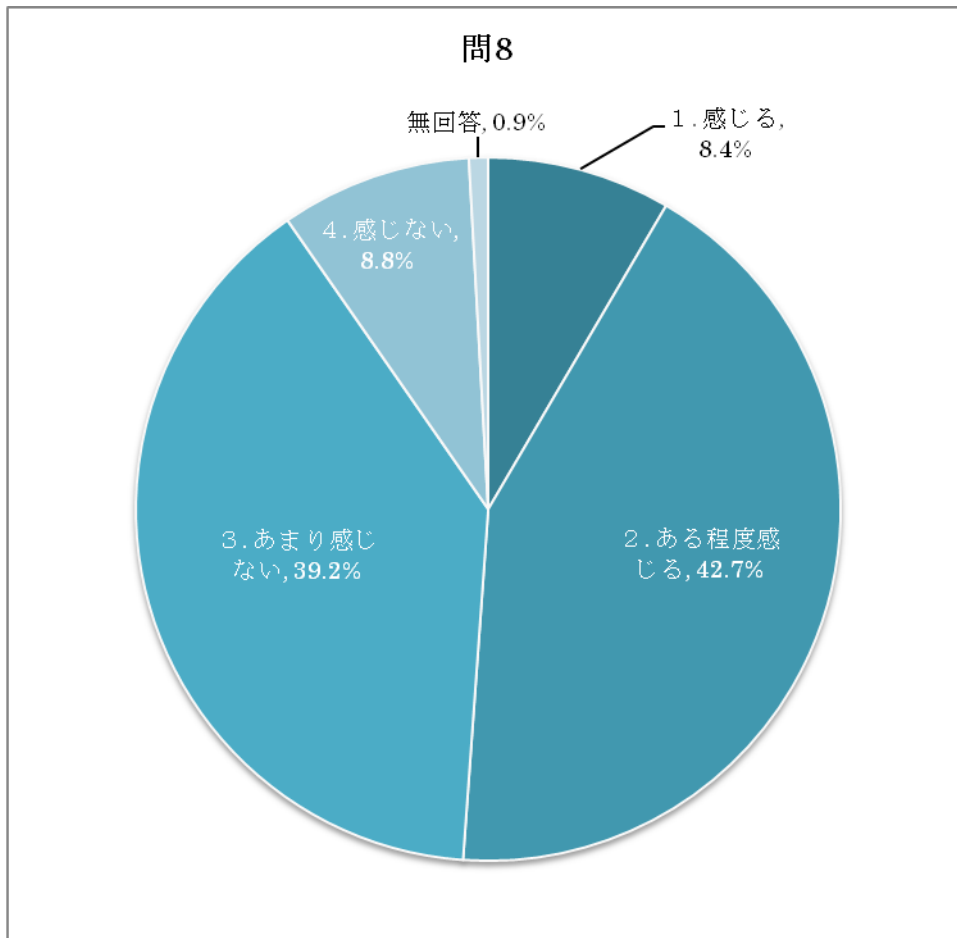
【分析・コメント】

窓口や電話での区役所職員の対応は、好感をもてますかとたずねたところ、「非常に好感をもてた」(14.1%)と「ある程度好感をもてた」(55.9%)をあわせた7割の方は職員の対応に好感をもてたことがわかりました。また、「あまり好感をもてなかった」(10.5%)と「好感をもてなかった」(4.0%)をあわせた1割の方は職員の対応に好感をもてなかったということがわかりました。

問8 子育て支援、障がい者支援、高齢者支援など、城東区で福祉が推進されていると感じていますか。(1つ選んでください)

1. 感じる	8.4%	【48】
2. ある程度感じる	42.7%	【243】
3. あまり感じない	39.2%	【223】
4. 感じない	8.8%	【50】
無回答	0.9%	【5】

n = 569



【分析・コメント】

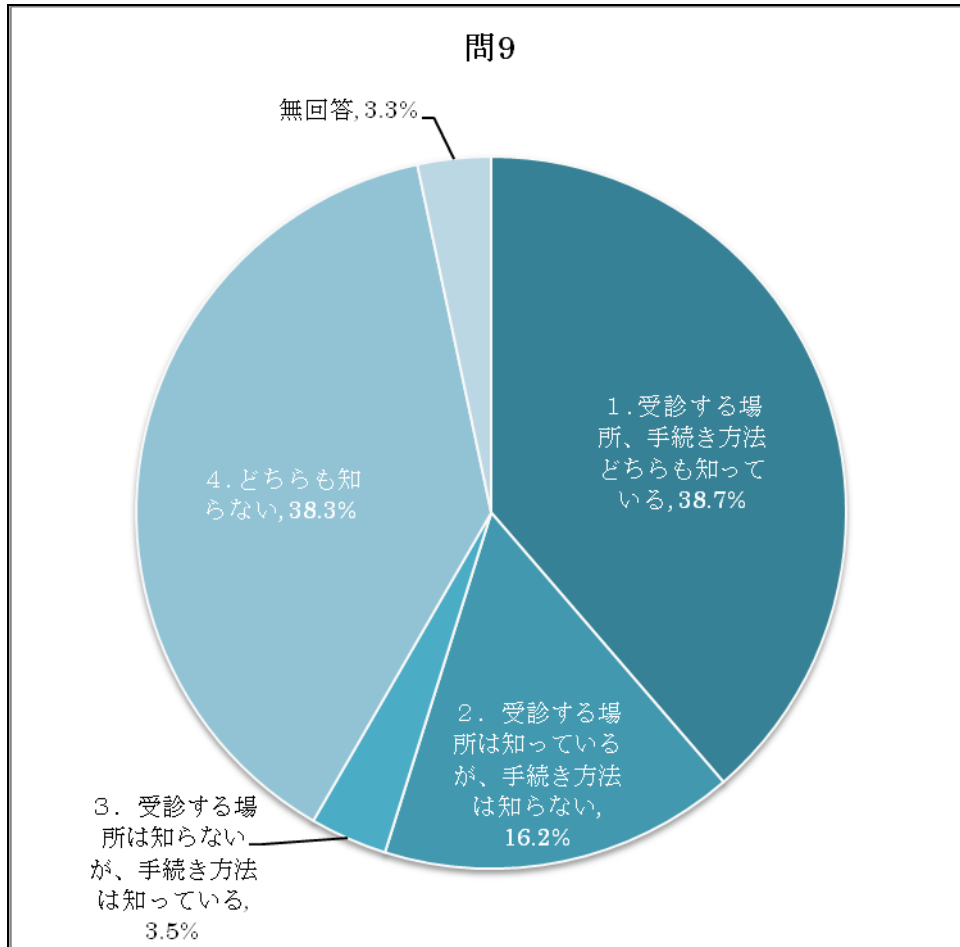
子育て支援、障がい者支援、高齢者支援など、城東区で福祉が推進されていると感じていますかとたずねたところ、「感じる」(8.4%)と「ある程度感じる」(42.7%)をあわせた5割の方は福祉が推進されていると感じていましたが、「あまり感じない」(39.2%)と「感じない」(8.8%)をあわせた5割の方は福祉が推進されていると感じていないことがわかりました。

問9 本市が実施するがん検診の受診する場所や手続き方法を知っていますか。

(1つ選んでください)

1. 受診する場所、手続き方法どちらも知っている	38.7%	【220】
2. 受診する場所は知っているが、手続き方法は知らない	16.2%	【92】
3. 受診する場所は知らないが、手続き方法は知っている	3.5%	【20】
4. どちらも知らない	38.3%	【218】
無回答	3.3%	【19】

n = 569



【分析・コメント】

本市が実施するがん検診の受診する場所や手続き方法を知っていますかとたずねたところ、4割の方は「受診する場所、手続き方法どちらも知っている」(38.7%)ということがわかりました。また、4割の方は「どちらも知らない」(38.3%)ということもわかりました。

受診場所の認知度でみると、「受診する場所、手続き方法どちらも知っている」(38.7%)と「受診する場所は知っているが、手続き方法は知らない」(16.2%)をあわせた5割の方は受診する場所を知っていることがわかりました。また、手続き方法の認知度でみると「受診する場所、手続き方法どちらも知っている」(38.7%)と「受診する場所は知らないが、手続き方法は知っている」(3.5%)をあわせた4割の方は手続き方法を知っていることがわかりました。

【3】調査結果を受けて

地域における防災の取組に関して、防災活動が充実してきていると感じるかについて、「ある程度感じる」を含め4割の方しか感じていないことがわかりました。一方、自助・共助による地域防災活動が必要と感じている方は、「ある程度感じる」を含め9割となっており、自助・共助の必要性を多くの方が感じていることがわかりました。今後、防災訓練などの取組がより一層活発になるように支援していくことが必要です。

本市が実施するがん検診を受診する場所や手続方法を知っているかについてたずねたところ、どちらも知っている方は4割ということがわかりました。しかし、6割の方は「どちらも知らない」、「どちらか一方しか知らない」ということがわかりました。区民の皆さんに健康に関心を持ってもらうため、がん予防に関する情報を発信し、受診率向上に向け啓発活動を進めていく必要があります。

まちづくりに関しては、7割の方が城東区に愛着を持ち、9割の方が住みやすいと感じていることがわかりました。住民同士の「つながり」や「きずな」については、増えたと感じている方は4割ほどで、年代別では60歳以上で半数強の方が増えたと感じていますが、その他の年代では3割程度となっています。「住のまち」城東区として幅広い年齢層の区民の方に豊かなコミュニティによって、人と人との絆が育まれていくよう、まちづくりをすすめていかなければなりません。

窓口サービスについては職員の対応に7割の方が好感をもてたと感じていました。引き続き、迅速・正確・丁寧な窓口サービスの提供と、効率的な業務運営に取り組んでいく必要があります。

区政運営に関して、法律相談などの各種相談事業の認知度は5割を超えており、比較的知られているようですが、区政会議や運営方針などの認知度は2割と低くあまり知られていないことがわかりました。今後、自律した自治体型の区政運営を推進していくためには、区民の皆さんに向けて積極的な情報発信を行い、区の施策や事業の認知度を高め行政への関心を促していくことが必要です。

担当 城東区役所総務課（総合企画）
電話 06-6930-9683